



命かけ民意つらぬく 翁長知事が死去

沖縄県の翁長雄志知事が8日、すい臓がんのため死去しました。67歳。日米両政府が推進し、工事を強行する名護市辺野古新基地建設への反対を命懸けで最後までつらぬきました。

「あの美しい大浦湾を埋め立てる新辺野古基地は造らせない」「(新基地反対の) 民意をしっかりと日本政府に伝えたい」(2014年12月10日、初登庁あいさつで)

語録

「(辺野古新基地建設は) 沖縄の基地負担軽減に逆行しているばかりでなく、アジアの緊張緩和の流れにも逆行している」(18年6月23日、「慰霊の日」で)

深い敬意と感謝 志位委員長がコメント

日本共産党の志位和夫委員長は、翁長氏死去を悼み次のようにコメントしました。「不屈の信念と、烈々たる気概で、辺野古新基地反対を貫い

た4年間のたたかいに、深い感謝と敬意をささげます。保守・革新の垣根を超えた共闘にこそ沖縄の未来がある。ご遺志をつぎたたかう決意です」

参議院 比例代表は **日本共産党** 政党名で 個人名でも投票できます

「全国はひとつ」参院比例代表で7議席をめざします



制度解説
2019年7月
参院選投票方法

▶比例代表は「日本共産党」政党名を書きます。個人名でも投票できます。
▶選挙区は「候補者の名前」

JCP Supporter
JCP サポーター制度
HP からどなたでも登録できます

知事の志 継ぎ新基地つくらせぬ



手をつないで「がんばろう」をする県民大会の参加者 11日、那覇市(「しんぶん赤旗」提供)

沖縄県民大会7万人

故・翁長雄志沖縄県知事の志を受け継ぎ辺野古新基地(名護市)建設ストップへ声を上げようと11日に開かれた沖縄県民大会には県内外から7万人(主催者発表)が参加。「県民はあきらめない」と書いたボードをいっせいに掲げ「新基地NO」の決意を示しました。

●民意に突き動かされている

集会では知事の次男・雄治氏が登壇。「(『オール沖縄』の) 民意にわれわれ政治家が突き動かされている。父に、辺野古新基地が止められたと報告できる

日本共産党

ように、頑張りましょう」と訴えました。知事職務代理の謝花喜一郎副知事は辺野古埋め立て承認撤回について「翁長知事の強く熱い思いをしっかりと受け止め、毅然と判断」とのべました。

●9月30日に知事選

沖縄県知事選は9月13日告示、30日投票で行われることになりました。「オール沖縄」は翁長氏の後継候補選びを進めています。

近畿民報

2018年8月 No.3(第335号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。